

授業科目 精神医学

【担当教員名】 渡邊 良弘		対象学年	2	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
		開講時期	前期・後期	必修選択	選択
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 中枢神経系を中心とした身体と心（認知・思考・情動）について、発達段階および主に対人関係において起きる精神疾患の特徴を知り精神医学の知識をもつことにより、精神障害の多様性と家族・社会の幅広い関係性について把握する					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患をもつ人の生活背景や歴史を社会福祉に根ざした観点から理解する 2. 精神疾患の定義、症状、特徴について正確に把握する 3. 精神疾患をもつ人へのわが国の社会福祉の動向を把握する 4. 精神疾患とその治療、家族職場関係、地域社会の課題と問題を適切に関連づけ解決能力を育成する 5. 精神障害者の社会福祉と人権の問題についての知識を得て適切な判断ができる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神科医療とは何か 精神科医療の歴史・心ころと精神			1, 3, 5	講義
2	心理現象の生物学的基礎			1, 2, 3, 4	講義
3	精神症状の定義と分類			2, 3, 4	講義
4	精神科面接・検査			2, 3, 4	講義
5	精神科の疾患と症状 神経症とストレス障害			2, 3, 4	講義
6	心身症			2, 3, 4	講義
7	統合失調症（1）			2, 3, 4	講義
8	統合失調症（2）			2, 3, 4	講義
9	気分障害（1）			2, 3, 4	講義
10	気分障害（2）			2, 3, 4	講義
11	心的外傷とストレス障害			2, 3, 4	講義
12	身体因性精神障害 てんかん			1, 2, 3, 4	講義
13	器質性精神障害 認知症 老年期精神障害			1, 2, 3, 4	講義
14	物質関連障害 アルコール依存			2, 3, 4	講義
15	物質関連障害 薬物依存			2, 3, 4	講義
16	児童青年期の精神障害 発達障害			2, 3, 4	講義
17	児童青年期の精神障害 知的障害			2, 3, 4	講義
18	パーソナリティ障害（1）			2, 3, 4	講義
19	パーソナリティ障害（2）睡眠障害			1, 2, 3, 4	講義
20	精神科の治療法 薬物療法			1, 2, 3, 4	講義
21	身体的治療法 精神科救急			2, 3, 4	講義
22	精神療法 個人精神療法			2, 3, 4	講義
23	精神療法 集団精神療法			2, 3, 4	講義
24	認知行動療法・行動療法			2, 3, 4	講義
25	統合失調症の精神療法			2, 3, 4	講義
26	法と精神医学			5	講義
27	病跡学			2, 3, 4	講義
28	産業精神医学とストレスケア			2, 3, 4	講義
29	精神医学の位置			1, 2, 3, 4, 5	講義
30	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		はじめての精神医学	渡辺雅幸	中山書店	2,800円＋税
参考書					
その他の資料		プリントを配布する			
【評価方法】 出席状況 30%、後期試験 70%である			【履修上の留意点】 著しい私語など授業の妨げとなる迷惑行為はその都度注意する		